

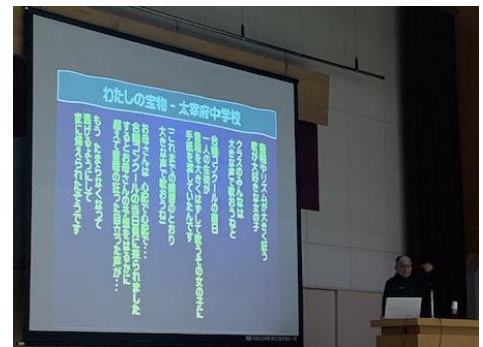


本年度の本校の教育目標を、「しなやかな心もち、地域や社会に貢献できる生徒の育成」としました。「しなやかな心」とは、「自分の能力は生まれつきのものでなく、努力によっていくらでも伸ばすことができる」と信じ、常に学び続け、様々な課題に対して周囲の人と協働して粘り強く取り組む心や姿勢のことです。「貢献」とは、相手意識をもって、人のために行動することで、周囲の人への思いやりがあり、気配り、心配りをするということです。「自律」とは、自分の夢や目標を達成するために、もしくは社会や人の役に立つために、自分自身の振る舞いを調整できる状態のことです。現在、重要視されている**非認知能力**の中でとくに重要である「**自制心**」と「**やり抜く力**」が高まった状態のことです。また、本年度の重点目標の「元気に登校して仲間とかかわろうとし、目標をもって計画的に学習や運動に取り組む生徒の育成」と、生徒会スローガンの「SWITCH」を使って、本年度の合言葉を右のようにしました。生徒のみなさんが、元気に登校して、多くの人とかかわり、自分の目標達成のために、運動や学習に主体的に取り組み、笑顔あふれる太宰府中学校になることを期待しています。

学校に行く「SWITCH」
人とかわる「SWITCH」**Onにしよう!**
学習・運動する「SWITCH」

仲間とのかかわり方について考える時間となりました。

4月14日(火)に、人権教育講演会を実施しました。この講演会の目的は、障がいをもっている人への偏見をなくし、一緒に生活していく仲間として、自分にできることは何かを考えることです。本年度は、太宰府市南隣保館職員の松永隆一郎先生に講話をしていただきました。松永先生は、ご自分が幼少期から中学生の頃までに体験されたことや教員として経験されたことを話されました。私が印象深かったことは、「心を痛めている人がいることに気づき、どうすればよいかみんなで見守る」ことで、自分も周りの人も幸せになれるということです。自分と他者を比較して、人を否定したり、見下したりするのではなく、自分と違うことも認めて受け入れていくことが大切だとあらためて感じました。生徒のみなさんも、今までの自分を振り返り、これからの自分の言動について考える時間になったと思います。松永先生の思いが伝わっていることを期待しています。



授業参観、PTA 総会、学級懇談会、おやじの会との愛校作業を実施しました。

4月24日(金)の授業参観に、多くの保護者の方に来校していただきありがとうございました。本年度は、久しぶりに対面式のPTA総会を実施しました。年度当初に、私たち教職員が保護者の皆様とお会いしたり、保護者同士が顔を合わせたりすることは大切だと考えたからです。PTA総会の議事はみなさんのご協力によりスムーズに進みました。私からは、保護者のみなさんに2つの話をしました。1つは、相手がいやな思いを感じたならば、自分にいじわるをする気持ちがあってもなくても「いじめ」であることです。とくに、現在SNSによるいじめやトラブルが増加しており、学校では、その事案に対する全体像を把握することが難しく、対応できないことが多い状況です。スマートフォンの使用については、保護者の方が責任をもつ必要があると思います。2つは、家庭学習のことです。これから、高校、大学へと進学し、社会人となるにしたがって、自分で自分の学習、仕事の見通しをもって生活する習慣を身につけることが大切です。保護者の皆様には、家庭学習に取り組んでいる姿を見守っていただきたいと思ひます。

また、4月25日(土)には、「おやじの会」の方と部活動生によるグラウンド周辺の除草作業をおこないました。5月16日実施の体育祭の成功に向けて生徒、教職員、保護者の方と一緒に活動することで、太宰府中学校にかかわる多くの人たちの気持ちが1つになることができたと思います。いつも**太宰府中学校の生徒を見守ってくださるおやじの会の皆様のご協力に感謝**いたします。

体育祭結団式、ブロック結団式をおこないました。

4月27日(月)に、体育祭結団式を実施しました。結団式は、体育祭実行委員、ブロックリーダーの生徒たちが中心となって行い、体育祭に取り組む熱意やブロックをまとめていく意気込みを話しました。

第48回体育祭スローガンは、『**瞬火集闘(しゅんかしゅうとう)**』**~On your SWITCH~**』です。実行委員長は、「春夏秋冬が過ぎていく中で一瞬しかない体育祭で、ブロックで団結し、一人ひとりのスイッチを切り替えて熱く闘いたい。このスローガンを達成するために、みんなが団結して練習に真剣に取り組んでいこう。」と熱く語りました。本年度も、**誰一人取り残すことなく、太宰府中学校の生徒みんなできつくりあげる体育祭**になることを期待しています。

